

2020年3月20日
日 本 銀 行

米ドル流動性供給を一層拡充するための中央銀行の協調行動

カナダ銀行、イングランド銀行、日本銀行、欧州中央銀行、米国連邦準備制度およびスイス国民銀行は、本日、米ドル・スワップ取極を通じた流動性供給を一層拡充するための協調行動を公表することとした。

スワップ取極を通じた米ドル資金供給の有効性を高めるため、上記の中央銀行は、1週間物の米ドル資金供給の頻度を週次から日次に引き上げることに合意した。これら日次の米ドル資金供給は、2020年3月23日（月）から開始され、少なくとも4月末まで継続される。これらの中央銀行は、週次の3か月物（84日物）の米ドル資金供給も、引き続き実施する。

上記の中央銀行間のスワップ取極は、利用可能な常設の制度であり、グローバルな資金調達市場の緊張を緩和する重要な安全弁として機能することによって、国内外で、こうした緊張が家計や企業に対する信用供給に及ぼす影響を軽減することに資するものである。

各国中央銀行の措置

各国中央銀行の措置については、下記ウェブサイト参照。

カナダ銀行	https://www.bankofcanada.ca
イングランド銀行	https://www.bankofengland.co.uk
欧州中央銀行	https://www.ecb.europa.eu/home/html/index.en.html
米国連邦準備制度	https://www.federalreserve.gov
スイス国民銀行	https://www.snb.ch/en

以 上